

平成 26 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 ケ ネ デ ィ ク ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 島 大 祐  
(コード番号:4321 東証一部)

問 い 合 わ せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 田 島 正 彦  
電 話 番 号 (03)5623-8400

## シニアリビング・プレリートファンド組成に関するお知らせ

当社グループでは、下記の通り介護付・住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅等を主な投資対象としたプレリート及び開発ファンド(以下「ファンド」)を組成することとしましたのでお知らせします。

記

### 1. ファンド概要

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 総資産規模 | 累計 1,000 億円程度   |
| (2) 投資家   | 当社及び国内外機関投資家  |
| (3) 運用期間  | 5 年程度   |
| (4) 投資対象  |   |
| 投資スキーム:   | 稼働中物件、開発案件への投資及び M&A (株式取得等)                              |
| 投資対象:     | 介護付有料老人ホーム (特定施設)、住宅型有料老人ホーム<br>サービス付高齢者向け住宅、病院・クリニックモール等 |

### 2. ファンド組成の背景

我が国は高齢社会を迎え、今後も高齢化率の増加が引き続き見込まれる中、介護付・住宅型有料老人ホーム及びサービス付高齢者向け住宅等のシニアリビング施設の安定的な供給が重要な課題となっています。当社は、このような問題に取り組むことへの社会的な意義や、シニアリビングに関する今後の成長性を鑑み、ヘルスケア REIT への物件供給を目的としたファンドの組成を行うこととしました。本件の取組みを通じて、中期経営計画における受託資産残高(以下「AUM」)の成長に繋げるとともに、この高齢社会に対し、優良なシニアリビング施設の供給と運営を行っていきたいと考えています。

### 3. 自己勘定投資の活用について

当社は、中期経営計画において、受託資産残高(AUM)拡大と自己勘定投資の積極化を掲げており、機動的な投資を可能にするために、自己勘定投資の年間上限額を当初の 300 億円から 400 億円に増額しました。

共同投資を中心とした自己勘定投資を活用し、速やかな本件ファンド組成及びファンド規模の拡大を目指します。

### 4. 今後の見通し

平成 26 年 12 月期連結決算における影響は軽微であり、平成 26 年 2 月 14 日付公表の平成 26 年 12 月期連結予想に変更はありません。今後、経営環境や不動産市況、業績推移の動向に鑑み、業績予想修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせします。

以 上